

令和元年度 第3回

吹田市立留守家庭児童育成室運営業務委託事業者選定等委員会 議事要旨

- 1 日 時 第3回 令和元年 11 月 30 日（土） 9 時 30 分から 12 時まで
- 2 場 所 吹田市役所 低層棟 3 階 研修室
- 3 欠 席 なし
- 4 議事録

～ 開会 ～

（事務局）

それでは、第3回吹田市立留守家庭児童育成室運営業務委託事業者選定等委員会を開催します。今回の案件は、東、山手、高野台育成室の直営指導員からのヒアリングです。各育成室の環境や児童の特徴など御説明させていただいた後、質疑応答となります。

初めに、地域教育部長から御挨拶申し上げます。

（地域教育部長）

【挨拶】

（事務局）

本委員会は、委託事業者を選定・評価するという性質上、吹田市情報公開条例第28条第2号の規定に基づき、委員のお名前、選定事業者以外の事業者名等は公表しないものといたします。また、委員会の議事につきましては、委員名を伏せて会議録を作成し、市のホームページで公開することになりますので、よろしく願いいたします。

続きまして、配付資料の御確認をお願いいたします。

【資料確認】

それでは、各育成室の指導員からのヒアリングに先立ちまして、本市の留守家庭児童育成室の状況について御説明をさせていただきます。

本市の留守家庭児童育成室は、市内全36小学校内に育成室を設置し、保護者が仕事などで保育できない1年生から4年生までの子どもを対象に保育を行い、「働くことと育てること」の両立の支援を行っています。

配慮を要する児童についても、必要な環境を整備し、他の児童とのかかわりをとおして

健やかに成長することができるよう努めています。

現在、本市では育成室のニーズの高まりに加えて、小学校児童数が増加傾向にあるため、育成室入室児童数が増加しており、今後、数年間はこの傾向が続く見込みです。そのため、指導員の確保が難しく、多くの育成室で欠員が生じ、アルバイトの指導員で補填している状況です。

指導員の欠員解消の方策の一つとして運営業務の民間委託を行っており、計画では12か所の委託を行います。今年度の3か所の民間委託により、12か所の委託化が完了する予定です。

昨年度も就任いただいた委員の皆様は御存じかと思いますが、昨年度の選定におきましては、3か所中1か所しか事業者が決まりませんでした。加えて昨年度から委託を開始した1か所の事業者が、運営がうまくいかず、昨年度末で契約解除となり、直営の運営に戻りました。民間委託が思うように進まなかった結果、今年度当初は、20人近くの待機児童が発生する事態となり、待機児童の解消までには8か月を要しました。

今年度は、3か所を選定する予定ですが、来年度の入室に向けた申請件数を鑑みますと、3か所選定できたとしても、待機児童が生じる恐れがあります。ましてや、3か所の選定ができなければ相当数の待機児童が発生することが危惧されております。

担当所管といたしましては、待機児童を少しでも生じさせないために、3か所の民間委託を確実に進めたいと考えているところです。

それでは、各育成室からヒアリングを始めさせていただきます。東留守家庭児童育成室のA指導員でございます。

(東留守家庭児童育成室)

【東留守家庭児童育成室に係るヒアリング】

(事務局)

それでは、質疑応答に移ります。

(B委員)

要保護児童対策地域協議会に話が上がっている児童はいませんか。また、要保護児童対策地域協議会と連携を取られていますか。

(東留守家庭児童育成室 A 指導員)

今年度、要保護児童対策地域協議会に話が上がっている児童はいません。また、連携についてですが、会議に呼ばれた際に、育成室の過ごし方などについてお話しします。

(C 委員)

指導員で保育士など何か資格を持っている方はいますか。

(事務局)

非常勤職員は全員、放課後児童支援員の資格を取得しています。補助員と呼ばれるアルバイトの指導員も順に取得していただいている状況です。

(B 委員)

指導員の体制や勤務形態について、市の直営育成室はどこも規定を満たしているということによろしいですか。

(事務局)

満たしています。ただし、欠員のある育成室は、アルバイトの指導員で補充しています。また、配慮を要する児童に指導員がついている場合とそうでない場合があります。

(D 委員)

指導員は何名ほどおられますか。

(東留守家庭児童育成室 A 指導員)

非常勤職員 2 人、長期臨時職員 2 人、クラス運営の補助をしているアルバイトの指導員 2 名の計 6 名がいます。

(E 委員)

環境の変化に弱い児童もいると思いますが、引き継ぎで注意すべきところはありますか。

(東留守家庭児童育成室 A 指導員)

児童が物を投げるなどの行動をとった際は、何かあったのか、何がしたいのかといった声かけをしていただきたいです。また、大人にとって好ましい行動をとった際も、何か我慢をしていることがないかなど、行動の背後にあることを話をしながら見てほしいと思います。

(事務局)

それでは、東留守家庭児童育成室のヒアリングを終わります。

(事務局)

続きまして、山手育成室のヒアリングを始めます。F 指導員でございます。

(山手留守家庭児童育成室 F 指導員)

【山手留守家庭児童育成室に係るヒアリング】

(事務局)

それでは、質疑応答に移ります。

(B 委員)

エビペンの保管や使用について、育成室内ではどのような共通理解をしていますか。

(山手留守家庭児童育成室 F 指導員)

まず、児童の所持についてですが、学校がある日は、ランドセルの内ポケットに入れ、1日保育や遠足の日には、リュックのマイポケットに入れるということで共有しています。その他、エビペンの保管場所や使用については、おやつを提供ができる非常勤と長期臨時で共有をしています。

(B 委員)

おやつのお供立は育成室で行っていますか。

(山手留守家庭児童育成室 F 指導員)

育成室で行っています。特に、アレルギーについては、保護者にカタログを見て確認していただき、確認が取れたものだけを提供しています。

(C 委員)

配慮を要する児童の申請をしていない支援学級の児童は加配はつかないのでしょうか。

(山手留守家庭児童育成室 F 指導員)

加配はつきません。配慮を要する児童の申請をすると送迎が必要となるため、送迎が困難などで申請しない保護者もいます。

(C 委員)

民間委託となった場合、配慮を要する児童の引き継ぎは丁寧にできますか。

(山手留守家庭児童育成室 F 指導員)

引き継ぎ資料を作成することになるので、できるだけ詳細に記載したいと思います。

(C 委員)

支援学校との連携について、指導員が運動会などに参加するというのですが、児童の担当者が行くということですか。

(山手留守家庭児童育成室 F 指導員)

はい。放課後子ども育成課に申請した上で参加しています。

(C 委員)

おたよりを月2回発行されているということですが、業務量的に大変ではないですか。

(山手留守家庭児童育成室 F 指導員)

非常勤指導員が交代で作成したり、月号にして中号は行事の予定や児童のささいな様子を記載して発行するなど工夫しているので大変ではありません。

(C 委員)

子ども発達支援センターとは定期的に連携されていますか。

(山手留守家庭児童育成室 F 指導員)

子ども支援センターの方に年に5回ほど訪問していただき相談等しています。また、同じ方に訪問していただいているので継続性もあります。

(委員長)

3クラスありますが、1クラスずつ活動しているのでしょうか。それとも、時間帯によってはみんなで遊ぶ機会はあるのでしょうか。

クラス分けについて教えてください。

(山手留守家庭児童育成室 F 指導員)

生活の場面については、クラス固定をしていますが、遊びについては、クラス間の移動を自由に行っています。

クラス分けについては、4月当初は、前年度のクラスを引き継いで、地域別で帰宅しやすいように1年生を配置します。その後、交友関係や男女比などを見ながら編成することとなりますが、4年生が班構成に参加したりもします。

(D 委員)

育成室が2階と3階にあり、グラウンドを含めると広い範囲で活動していることになり
ますが、民間委託になるに当たって注意することはありますか。

(山手留守家庭児童育成室 F 指導員)

校内は死角が多く全ての行動で階段を使うため、児童と一緒に校内を巡り危険な場所を
教えていただければと思います。また、指導員が先頭に立ち集団で運動場に行くようにし
たり、4月当初は一年生を先に階段の上り下りさせるなど注意しています。

(E 委員)

ほかの育成室と比較して、地域性などを踏まえ注意すべきことがあれば教えてください。

(山手留守家庭児童育成室 F 指導員)

校区が広いので、下校指導の際は、指導員がついて行くのが多いです。また、児童の習
い事の差が余りなく、安定している家庭が多いと思います。

(委員長)

保護者会とはどのような連携をされていますか。

(山手留守家庭児童育成室 F 指導員)

保護者会の行事の中に児童がけん玉を披露する機会をつくっていただいたり、片山公園
で行われているお祭りに参加するなど子どもが楽しめる行事を保護者会と一緒に企画・運
営しています。

(事務局)

それでは、山手留守家庭児童育成室のヒアリングを終わります。

(事務局)

続きまして、山手育成室のヒアリングを始めます。G 指導員でございます。

(高野台留守家庭児童育成室 G 指導員)

【高野台留守家庭児童育成室に係るヒアリング】

(事務局)

それでは、質疑応答に移ります。

(B 委員)

規模の大きい育成室から比較的小さい高野台留守家庭児童育成室に異動されて課題に感じたところがあれば教えてください。

(高野台留守家庭児童育成室 G 指導員)

児童数が少ない分、人間関係が濃いです。また、規模の大きい育成室であれば、周りに遠慮をして自分の意見を言えなくなることもありますが、高野台留守家庭児童育成室の児童は、自分の意見を心の底から伝えているように感じます。ただし、それが全ていいかといえばそうではなく、ある程度我慢することも必要だと思います。

(B 委員)

肢体不自由の児童が多いということですが、送迎はどのようにされていますか。

(高野台留守家庭児童育成室 G 指導員)

保護者の方が送迎をされています。

(E 委員)

配慮を要する児童が多いということですが、指導員の御経験を教えてください。

(高野台留守家庭児童育成室 G 指導員)

現在、非常勤は2人おりまして、私は約20年の経験があります。もう一人は、臨時指導員をしていた時期を合わせると約10年の経験があります。

(委員長)

おたよりを週一回発行されているということですが、普段の業務をこなしながらどのように作成されていますか。

(高野台留守家庭児童育成室 G 指導員)

保育が始まる前の打ち合わせや延長保育の時間帯を活用し、体制が許す範囲で作成しています。

(C 委員)

センター校ということで特殊性が強く、家庭的背景の差もあるとのことですが、保育の継続性は経験による部分もあるかと思います。引き継ぎで注意することなどありますか。

(高野台留守家庭児童育成室 G 指導員)

紙面上での引き継ぎでは、具体的に理解できないところがあります。

(C 委員)

子どもを実際に見ないと分からない部分があると思います。委託をするに当たり、子どもへの影響に対してどう対応していくのか。また、保育の中で継続性があつたほうがいいことなどあれば教えてください。

(高野台留守家庭児童育成室 G 指導員)

一人ひとりの子どもたちを大切にしてほしいと思います。

(D 委員)

紙面上だけの引き継ぎだけではなく、体験をする引継ぎもしていただきたいと思います。

(委員長)

1クラスから2クラスになって変化したこととかありますか。

(高野台留守家庭児童育成室 G 指導員)

スペースを広く活用できたことと、クラス間での競争意識が生まれました。

(事務局)

それでは、山手留守家庭児童育成室のヒアリングを終わります。

～ 閉会 ～

※ 発言の順にA委員、B委員、C委員…と表記しています（委員長を除きます）。